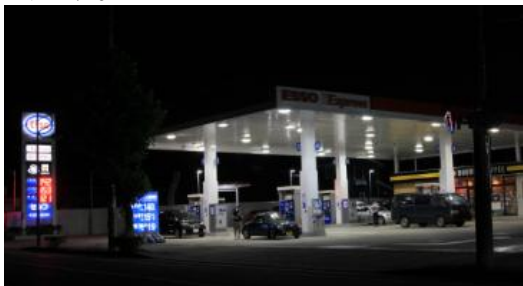


## エクソンモービル・ジャパングループの節電対策実施状況について

東日本大震災の影響により東京電力および東北電力管内の供給能力が大幅に減少していることに鑑み、エクソンモービル・ジャパングループでは対象となる事業所において7月1日より節電対策を実施しております。主な実施状況は下記の通りです。

- 川崎工場においては工場内の電力のほぼ全量を自家発電でまかっています。これによってピーク時の電力使用量を昨年比15%以上削減しています。なお震災後より東京電力に対しては余剰電力を提供しておりますが、今後も継続していく予定です。
- 東北電力管内の塩釜油槽所においては、ポンプの稼働台数を制限するなどの対応をとっています。これにより、ピーク時の電力使用量を昨年比で15%以上削減しております。
- サービスステーション(SS)
  - 東燃ゼネラル石油株式会社の100%子会社である中央石油販売株式会社が運営するSS(東京電力、東北電力管内)では、サイン類など一部照明を夜間消灯し営業上必要最低限にしております。また、販売室の空調設定温度を2℃引き上げるなどの対策をとり、ピーク時電力使用量を昨年比で15%以上削減しております。



一部照明を消灯して運営している  
サービスステーション(柏の葉SS)

- オフィスにおける取り組み
  - 当グループの本社フォイス(東京都港区港南)および一部の販売機能があるオフィス(神奈川県横浜市保土ヶ谷区)においては、OA機器の消費電力を削減するため機器の交換・利用制限を実施し、照明輝度・空調設定温度の調整をしています。これによりピーク時電力使用量を昨年比で15%以上削減しております。また、服装軽装化の取り組みとして、吸汗速乾性能ポロシャツを従業員に配布しました。



「DENKI SMART」のロゴが入った吸汗速乾性能ポロシャツを着て勤務する社員(本社オフィス)

- 関西電力管内にある堺工場では自家発電により必要とする電力のほぼ100%をまかっております。和歌山工場においても自家発電により主要電力をまかっており、引き続き購入電力の削減につとめて参ります。

以上